

特別委員会の報告から

各特別委員会の令和元年(2019年)度の活動経過について委員長が本会議で報告を行いました。その内容の一部をお伝えします。(青字が委員の質疑項目、黒字が市の答弁)

〈令和元年6月24日開催分〉

- ・ **健都のまちづくりの展望及び本特別委員会の廃止時期については**、これまではハード面を中心に議論してきたが、施設整備は最終段階にきている。令和元年をめどに、ソフト面のスキーム(枠組み)を整理し、健康寿命の延伸がいかに図られるかという説明ができるようになれば、特別委員会ではなく、常任委員会で議論できるのではないかと考えている。

〈令和元年11月12日開催分〉

- ・ **健康・医療のまちづくり推進本部の作業部会の実施方法については**、健康寿命延伸に向けた取り組みは、庁内全体で進めていく必要があるため、関係部局だけでなく、それ以外の部局の若手職員にも、担当している施策に健康の視点を取り入れてもらえるよう、幅広く参加できる作業部会を立ち上げ、無関心層への健康づくりの取り組み等についての検討を進めていきたい。

〈令和2年3月24日開催分〉

- ・ **健康に無関心な層への働きかけについては**、健康に関心がない層や、健康に関心はあるが、健康づくりに取り組んでいない層をターゲットにして、「健康」という言葉を掲げずに健康づくりに取り組んでもらえるようにしたい。自然と健康になる取り組み、そのための環境づくりは、行政だけでなく、民間企業のノウハウも活用し、健康に無関心な層を後押しする仕掛けづくりを施策の中に取り入れたい。

北大阪健康医療都市等の
まちづくり検討特別委員会
設置目的：旧国鉄吹田操車
場の跡地等における健康・医
療のまちづくりや低炭素まち
づくりの実現を図るとともに、
関連整備について検討する。



昨年開催された健康体感フェアの様子



整備が進む北大阪健康医療都市(健都)

このほか、令和元年8月9日に開催した委員会では、国立高度専門医療研究センター等と連携し、健康長寿のまちづくりに取り組んでいる千葉県柏市への行政視察を決定し、令和元年11月6日に、柏の葉スマートシティの健康長寿のまちづくりについて、同市を視察しました。

※なお、本委員会は、設置目的を達成したため、令和2年5月28日の本会議で廃止しました。

〈令和元年9月10日開催分〉

- ・地域防災計画に、より実効性を持たせるための見直しを行う必要性については、同計画には過去から積み上げてきた内容も含まれているので、表現が分かりやすく、誰が読んでも取り組める内容になっているかを併せて点検し、見直しに取り組みたい。

〈令和元年11月11日開催分〉

- ・各所管の情報収集等の課題解決に向けた取り組みの進捗状況を管理する庁内体制については、平成30年度に発生した自然災害への対応報告書に記載している課題については、危機管理室で関係各部の進捗状況を確認している。また、それぞれの課題について、庁内で課題検討部会を立ち上げ、各部が連携した取り組みなどについて、積極的に検討を進めるとともに、検討結果についても、実効性が高まるよう、訓練等でさらに確認したい。
- ・令和元年6月に発生した千里山交番事案に関し、警察が把握していた犯人に関する情報を市が共有できなかった理由については、捜査情報に当たるので、警察からの事前の情報提供はなかったが、市民に被害が及ぶ可能性がある場合には、捜査情報に抵触しない範囲で緊急の情報提供を行うよう、大阪府に検討を依頼した。

〈令和2年2月3日開催分〉

- ・自主防災組織の結成やその組織間の交流を促す支援策の検討状況については、令和元年10月に、各地域の実情やそれぞれの団体が抱えている課題を共有し、自主防災組織の運営の参考としてもらうため、各団体間の情報交換会を初めて開催したが、今後も、未結成地域に結成を促していくため、日程、実施回数及び内容も含め、引き続き開催を検討していきたい。

委員会としての意見

避難所の設置・運営、特別な配慮が必要な人への対応、物資等の輸送・供給については、初動態勢、連携体制の確立について確実にいえるよう強化すること。また、共助の重要性に鑑み、自主防災組織の結成に積極的に取り組むこと。

このほか、5月11日に開催した委員会では、委員が策定作業を進めていた、本市議会の「緊急時初動対応マニュアル」について協議し、内容を取りまとめました。

防災・減災等対策特別委員会

設置目的：平成30年に発生した地震や台風などの自然災害への対応について議会内の対応も含めて検証するとともに、災害に強いまちづくりや安心安全のまちづくりを目指し、初動態勢等について検討する。



昨年9月に実施した地域防災総合訓練

